

市内花の名所

観音寺のサクラ

匝瑳探訪

-47-



観音寺境内にある河津サクラ

春4月、サクラの季節となりました。市内での見所は黄門桜（飯高地区）、天神山公園と田町池端 東栄寺境内（いずれも中央地区）などがあげられます。

これから5月にかけ、境内に咲き誇る花を眺めながらの「花の寺」巡りも楽しみの一つかもしません。

平和地区平木の観音寺では、10数年前に先代住職が植えた河津サクラ20本余りが見事に育ち、2月から3月の花見時には訪れる人もあったと聞きました。

観音寺は寺の名が示すよう

（天明8年）以前にさかのぼるとみられます。本尊もおそらく2代目で、このころには寺周辺の開発も進み檀家の総力を集め祭られたのでしょうか。

境内入り口の1788年（新四国八十八か所の第48番札所だったことは3年前の17

85年に野中・長禅寺（旭市）の住職が、下総4郡（海上・香取・匝瑳・山武）を四国になぞらえ始めた遍路と結びつきま

に、2間四面の小堂に本尊の十一面觀音が祭られています。お堂は1690年墓地の改修が進み新しい門柱が建てられるなどの変化が見られます。お堂は1690年（元禄3年）に造られました

が、他の記録や境内の墓石などから寺ができるのはそれより古く、1649年（慶安2年）以前にさかのぼるとみられます。本尊もおそらく2代目で、このころには寺周辺の開発も進み檀家の総力をを集め祭られたのでしょうか。

境内入り口の1788年（新四国八十八か所の第48番札所だったことが知られます。

観音寺には明治前期に間口7間・奥行4間の建物があり、これを教場に使用し平和小学校の前身がスタートしました。後に新校舎が現在地に完成したため明治30年以降取り壊され、本堂だけが残ったのでしょうか。

市内には「花の寺」として飯高寺のボタンとアジサイ、飯高・妙福寺のフジ、木積・圓實寺（豊栄地区）のツツジなどが知られています。観音寺の河津サクラを育てた苦勞話も耳にしました。来春から仲間入りすることででしょう。

4月13日に結願（けちがん）する福善寺（中央地区）などの「東總お大師まいり」。戸（共興地区）の渡辺権右衛門によって始めたとされますので、その後に再編されたのでしょうか。

1835年（天保6年）の「西國供養塔」は平木村の仲才、蓮沼、糀内、山集落や戸、荻野村の石毛、宇井、鶴殿、川口、椎名、滝田、戸村、増田、渡辺姓の人たちによつて建てられました。

観音寺には明治前期に間口7間・奥行4間の建物があり、これを教場に使用し平和小学校の前身がスタートしました。後に新校舎が現在地に完成したため明治30年以降取り壊され、本堂だけが残ったのでしょうか。

市内には「花の寺」として飯高寺のボタンとアジサイ、飯高・妙福寺のフジ、木積・圓實寺（豊栄地区）のツツジなどが知られています。観音寺の河津サクラを育てた苦労話も耳にしました。来春から仲間入りすることででしょう。

（新四国八十八か所の第48番札所だったことは3年前の1785年に野中・長禅寺（旭市）の住職が、下総4郡（海上・香取・匝瑳・山武）を四国になぞらえ始めた遍路と結びつきました。

市内には「花の寺」として飯高寺のボタンとアジサイ、飯高・妙福寺のフジ、木積・圓實寺（豊栄地区）のツツジなどが知られています。観音寺の河津サクラを育てた苦労話も耳にしました。来春から仲間入りすることででしょう。